



## 京都府南部 聴覚障害のある児童生徒に関わる担当者向け研修会 報告

日 時 令和元年5月21日(火) 14:00~16:30  
場 所 京都府スーパーサポートセンター SSC ラボ  
内 容 講義「聴覚障害の理解と支援」聴覚支援担当 山下 宏  
情報交流「日々の教育活動における配慮のあり方について」  
指導助言 山城教育局 指導主事 森 環 氏

京都府南部地域の小・中学校に在籍する聴覚障害のある児童生徒に関わっておられる先生方8名に参加していただきました。

講義では、「きこえと難聴」「難聴の困難さ」「学校生活や授業場面での支援の在り方」についての基礎的な話をしました。理解を深めるために、難聴体験や補聴器装用体験も取り入れました。

情報交流では、事前にいただいた質問を基に、各校での児童生徒の様子や課題、取り組まれている配慮について共有することができました。具体的には、児童生徒のアセスメントの重要性、構文や語彙の指導、音楽の指導時の工夫や配慮など、今後の教育活動にいかしていただければという話題が上りました。

指導助言から、学校全体としての組織力向上の大切さ、保護者との連携の大切さ、山城地域の特別支援教育の現状とニーズ、一人一人の課題に寄り添った教育が求められていること等、多岐の内容についてお話をお聞きすることができました。

### 【参加者の感想】

学習環境への工夫、わかりやすい授業への支援など参考になりました。

日々の教育活動の中での自分自身の悩みや参加されている方の悩みを聞かせて頂く中で指導のヒントを得られたように感じます。



実際に児童がどのように音が聞こえているのかを体験することで、今後の指導に活かしていこう思うことが出来ました。先生方からアドバイスがいただけてありがたかったです。

改めて、体験したり考えたりすることで本人のおかれている状況を想像することが出来た。忙しい中ではあるが、しっかり見ていきたいと思う。